

## 水田消滅し、環境激変

# 西部地区開発、急ピッチ 洪水、道路渋滞の不安、住環境守れるか



白線内が開発予定地

下町信号から北へ延びる市道16号線沿線に、大型物流倉庫建設が続いています。隣接する基山町・鳥栖市側でも同様の開発計画があり、これまでのどかな田園風景は消え、コンクリートで固められた大型倉庫が林立する姿に変わっていきます。時代の流れとは言え、一抹の寂しさを感じます。このような開発が、下町区をはじめとする近隣地区に水や道路、住環境の問題でどのような影響を及ぼすのか質問しました。

小郡市議会議員 しんばる善信後援会だより

# つなぐ

発行  
しんばる善信後援会  
小郡市小郡1304-2  
0942-73-2123



### 大型倉庫GLP操業開始

12月5日、大原中西信号そばに建設中だった大型物流倉庫GLPが完成し、操業を開始しました。高さ31メートルもあり遠くからでも目立つ大規模なものです。

### 次々に倉庫建設計画 渋滞は起きないか

この先、GLP第2期工事、西側に2つの物流倉庫群、さらに、県境を挟んで基山町側にも複数の倉庫建設計画があります。これに伴い、倉庫に出入りするトラックの数は急増し市道16号線の渋滞が心配されます。これに対し、市長は「現在工事中の16号線整備を促し、交通の安全、良好な住環境の確保を行う」と答えました。今のところ渋滞の予測ははっきりしませんが、トラックを南北に分散させるなどの対応が求められます。

### 調整池で洪水を防ぐ

開発で、これまで水田が果たしてきた貯水機能が低下し洪水が起きないか心配です。市長は「調整池を整備し水をため、ゆっくり少しずつ放流することで、下流域への浸水被害軽減を図る。また、流域治水の考えに基づき、基山町や鳥栖市を含む自治体と協議し治水に取り組む」と答えました。

### こぐま学園、下町に新築移転

大分道南側には、大板井の児童発達支援施設こぐま学園が新築移転することが決まっています。この一帯には、既に病院や幼稚園があり、医療福祉教育のゾーンとなります。このことから一層、交通の安全、静かな住環境の確保が欠かせません。今後も、開発と環境保全のバランスをどうとるか、地域住民の理解などの視点で開発の進行を注視していきます。

# まちづくりガイドライン、その後は？

## まちづくりはつながりづくり

### キーワードは「ごちゃまぜ＝多様性」

小郡市の住民の多くは市外から移住した人たちです。



地域は新しい人との出会いと発見に満ちている

小郡市は、昨年3月「まちづくりガイドライン」をつくり、これからの地域づくりの方向性を示しました。それには、「人がつながり 市民が躍動する温かみのある都市 おごおり」とあります。いい言葉です。でも、他人である隣人とながめるのはなかなか難しい。どうやってらつながりあえるのか質問しました。

家を建て、市外に通勤。隣近所との関係も希薄になりがち。しかし、子育てや介護、地域環境のためにはどうしても地域で助け合わなければなりません。特に、退職後は地域で過ごす時間が長くなります。そんな地域でつながり合おうと言ふと「せからしそう」というつぶやきが聞こえてきそうです。さあ、どうする。それこそがまちづくりの課題です。今回の質問の視点には、地域は「面白いことの宝庫」「新しい人との出会いと発見の場」でした。

孤独とつながり、あなたはどう選ぶ

時々新聞に「孤独死」というのを見かけます。一人暮らしで近所との付き合い

も無く亡くなってもだれも気付かないのです。そのこと自体気の毒なことですが、それより生前その人が周りとうつき合いがなかったというところがもつと残念です。自ら孤独を求めたならいざ知らず、仕事ひとすじで、そうならざるを得なかった人も大勢います。

退職が65歳に延長されます。一段と地域デビューが遅れます。とすれば、退職を待つのではなく、若いうちから地域活動に関わり、いろんな人と「つながり」を結ぶのも、人生を面白く豊かにする一つのやり方だと思います。

女性・若者のパワーでマンネリ化からの脱却図れ

校区まちづくり協議会の大きな課題は、行事のマンネリ化、参加者の固定化です。「ワクワクドキドキ」する企画が必要です。この点注目されるのは、昨年9月、小郡校区まちづくり協

議会が行った「だいたいフェスタ」です。子どもから高齢者まで楽しめる体験イベントが盛りだくさんで、会場には笑顔があふれ、来年もまた来たいと言う声が聞かれました。

聞けば、企画段階から女性や若者のアイデアを大事にしてきたとのことでした。



地域には人材がいっぱい

地域には、料理学校、看護学校、消防団、特技を持つ人など多種多様な人材がいっぱいいます。これを活用しない手はありません。

# 2024年、小郡が変わる

## 6月、小郡鳥栖南インター開通

## 11月、コストコ開店



小郡鳥栖南インター完成予想図 読売新聞 ホームページより

スマートインター開通は出発点  
企業誘致には水対策が大きな課題

決まれば速い  
コストコ建設始まる

昨年3月、小郡市議会は「コストコ誘致決議」を行いました。その後、福岡県の審議会にて認可を得て、早くも11月末には、建設工事が始まりました。今年11月には開店と言います。このスピードには少々驚いています。さあ、これを立石地区及び小郡市の活性化にどうつないでいくのか、これからが正念場です。



kurumefan ホームページより

小郡の新公共交通システム「のるーと」始まる

ジャンボタクシー3台（定員8名）



小郡市は、これまで交通弱者のためにコミュニティバスを運行してきました。しかし、経費負担と効率性、利便性に多くの課題が出てきたため、新しい乗合タクシー「のるーと」に切り替えることになりました。スマホ、電話で予約し自宅から目的地まで行ってくれます。料金は2kmまで200円です。ただし、宝満川右岸地域の人のみが可能で、左岸側はすでにある相乗りタクシー利用になります。この変更には様々な意見が寄せられていて、引き続き検証していきます。

### この1さつ



家族の言い訳

森浩美 著

# 議会ハラスメント防止対策 特別委員会を設置 全会一致で決まる

あらゆるハラスメントをなくし、職員も議員も快適に働くために

昨年問題となった議員の職員に対する不適切な言動の反省から「議会ハラスメント対策特別委員会」設置を提案し、全会一致で可決しました。委員長にしんばる議員が就任し、ハラスメント根絶のための条例や指針、研修について調査研究していきます。

このことを通して市民、職員から信頼される議会の実現にむけ努力してまいります。

「『泣けばいい、泣けばいい』と女将さんがつぶやいた。」短編第1話「ホタルの熱」の終わりです。家業が倒産し、離婚届を残し失踪した夫。幼い息子とあてもなく列車に乗り、息子の発熱で

途中下車して泊まった宿の女将さんとの出会い。決してハッピーエンドではないけれど、人間っていいなあと思える話が詰まっています。夫婦、親子、家族、それぞれの姿があります。時間とともに、いろんなこと

が起こり、喜んだり悩んだり怒ったり困ったり。どんな家族でも互いを全部知っているわけでもない。それでも家族は家族。そんなことを考えさせてくれる本です。

## 小郡市議会議員

# しんばる善信 市政報告会

### ご案内

しんばる善信議員の市政報告会を行います。どなたでも自由にご参加いただけます。こぞつてお越しいただけますようご案内申し上げます。

### 期日

2月10日(土曜)  
10時開会

### 会場

人権教育  
啓発センター  
(小郡中央郵便局南側)

### 内容

しんばる善信議員の1年間の議会活動をプレゼンテーションで報告します。

### 議案(案)の経緯

やろつと思えば  
できるじゃないか

「みんな政策討論会をやりたいよ」何年も前からそう呼び掛けてきました。11月27日、ついに実現しました。政策討論会というのは、市民が困っている問題をみんなで調べ、解決する方法を討論し、提言にまとめて市長に提出するというものです。今回のテーマは「ヤングケアラー対策」で、家族の介護や家事のためにきつい状態にある子どもをどう支援していくかということでした。議員全員が真剣に意見を出し合い、提言書をまとめ、12月議会終了後に市長に提出しました。議員全員が、ひとつの課題解決に向け大いに議論し答えを出す。そのために、立場を超え一致協力する姿がありました。これこそ目指す議会の姿であり、うれしくなりました。(よし)